

《愛知県芸術劇場と愛知県美術館のコラボレーション企画》

劇団・第七劇場 『ムンク | 幽霊 | イプセン』 公演日本語字幕 モニターの募集

2020年1月に愛知県芸術劇場と愛知県美術館で行われる演劇パフォーマンスにて、日本語字幕付き上演を行います。なんと今回は愛知県美術館に収蔵されているムンクの絵画がテーマ。イプセンという劇作家が書いた『幽霊』という戯曲(台本)を上演するために、ムンクが描いた絵が愛知県美術館にあるのです。

エドヴァルド・ムンク《イプセン『幽霊』の一場面から》(愛知県美術館蔵)



ムンクと言えば、『叫び』という絵が有名で、何となく‘不思議な絵を描く’画家というイメージなのではないでしょうか。演劇や舞台に関係する絵も描いていたんですね。イプセンはムンクよりも少し先輩で、『人形の家』『ペール・ギュント』『民衆の敵』など、現在でも上演される有名な戯曲を沢山執筆した劇作家です。実は、ムンクとイプセンは同じノルウェーの出身で、ノルウェーを出てヨーロッパを転々としながら

作品を残すなど共通点も多い作家なのです。今回はこの二人の接点に注目して、劇場では演劇作品を、美術館では朗読のような、モノローグ(一人語り)の短いパフォーマンスを上演します。

<字幕実施回>

1月12日(日) 11:00 (上演時間 90分程度)

愛知県芸術劇場小ホール公演

1月12日(日) 14:00 (上演時間 20分程度)

愛知県美術館でのパフォーマンス

**※モニター募集!!**

上記公演をモニターとして鑑賞していただける方を募集します!

先着10名です。当日、鑑賞終了後に簡単なアンケートにお答えいただきます。お申し込みは名難聴事務局までお願いします。

【公演概要】

原作:エドヴァルド・ムンク、ヘンリック・イプセン

構成・演出・翻訳:鳴海康平(第七劇場)

美術館パフォーマンス:2020年1月8日(水)~1月13日(月・祝)

劇場パフォーマンス:2020年1月10日(金)~1月13日(月・祝)

劇場公演大人3,000円 25歳以下1,000円

美術館入場料(コレクション展のみ)一般500円 大学生・高校生300円)

公演についての詳細は <https://munch-ghosts-ibsen.tumblr.com/>



過去の第七劇場の演劇公演の様子



ポータブル字幕

